平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名　株式会社ツカモトコーポレーション　　上場取引所　東
コード番号　8025　URL　http://www.tsukamoto.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 阿久津　和行
問合せ先責任者 (役職名) 取締役本部担当　(氏名) 小林　史郎　TEL 03-3279-1330

四半期報告書提出予定日　平成23年8月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	7,530	0.2	180	△46.6	193	△39.4	120	△9.1
23年3月期第1四半期	7,517	△8.0	337	―	318	―	132	―

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　177百万円　(―%)　23年3月期第1四半期　△144百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	3.03	―
23年3月期第1四半期	3.33	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	31,917	10,661	18.6
23年3月期	31,954	10,492	18.1

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　5,929百万円　23年3月期　5,791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	―	―	0.00	0.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		―	―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,000	△5.3	500	△47.7	500	△46.6	250	△31.4	6.30
通期	31,000	△3.1	1,000	△25.8	1,000	△22.5	450	△11.7	11.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	40,697,476 株	23年3月期	40,697,476 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,001,105 株	23年3月期	999,752 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	39,697,261 株	23年3月期1Q	39,707,405 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報…… 2
（1）連結経営成績に関する定性的情報…… 2
（2）連結財政状態に関する定性的情報…… 3
（3）連結業績予想に関する定性的情報…… 3

２．サマリー情報（その他）に関する事項…… 4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動…… 4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用…… 4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示…… 4

３．四半期連結財務諸表…… 5
（1）四半期連結貸借対照表…… 5
（2）四半期連結損益及び包括利益計算書…… 7
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書…… 9
（4）継続企業の前提に関する注記……11
（5）セグメント情報等……11
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記……12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞や電力不足の問題等により、復興需要に期待を持ちつつも、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境下にあって当社グループは、創業２００周年を迎え、経営理念を見直すと共に、新グループ３ヵ年計画を発表し、グループの全体最適追求の経営を実践し、長期に渡る持続的な成長を可能とするグループの経営基盤の確立を目指して今年度をスタートさせました。

この結果、当第１四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は７５億３千万円(前年同期比０．２％増)、経常利益は１億９千３百万円（前年同期比３９．４％減)、四半期純利益は１億２千万円（前年同期比９．１％減）となりました。

セグメントの状況は以下の通りです。

〔和装事業〕

ツカモト株式会社及び市田株式会社における和装事業につきましては、両社の商品企画と営業を総括する和装事業本部を設置し、効率経営の実践による赤字経営からの脱却を目指して今年度をスタートさせております。しかしながら、当第１四半期連結累計期間においては、東日本大震災の影響により、主力の催事が中止、延期となり、売上高の減少傾向が続いております。西日本シフトを含む営業体制の再構築を図り、収益改善を図ってまいります。

以上の結果、当事業分野の売上高は２０億４千万円（前年同期比２０．３％減)、セグメント損失（営業損失）は１億３千万円（前年同期はセグメント損失３千１百万円）となりました。

〔洋装事業〕

ツカモトアパレル株式会社におけるメンズ事業につきましては、夏物の受注額が増加し、売上高は前年を上回り、営業利益も増加しました。

ツカモトユーエス株式会社におけるユニフォーム及びＯＥＭと婦人テキスタイル事業につきましては、ユニフォーム事業の売上高は受注額の減少から前年を下回り、利益率の低下もあり営業利益も大きく減少しましたが、受注状況は改善傾向にあり、第２四半期以降の回復を見込んでおります。ＯＥＭと婦人テキスタイル事業は、売上高は前年を下回りましたが、経費削減が寄与し損益は改善しております。ユニフォーム事業及びＯＥＭ・婦人テキスタイル事業全体としましては減収減益となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は１８億６千７百万円（前年同期比５．１％減)、セグメント利益（営業利益）は、６百万円（前年同期比９３．７％減）となりました。

〔ホームファニシング事業〕

市田株式会社におけるホームファニシング事業につきましては、店頭販売が堅調に推移し売上高は前年を上回りましたが、損益は若干の改善に留まりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は６億６千７百万円（前年同期比３３．４％増)、セグメント損失（営業損失）は３千万円（前年同期はセグメント損失３千２百万円）となりました。

〔陳列用器具の賃貸業〕

株式会社アディスミューズにおける陳列用器具の賃貸業につきましては、東日本大震災の影響がありましたが、営業努力により、売上高は前年を若干下回るに留まり、営業利益は減少しましたが、黒字基調を維持しました。

以上の結果、当事業分野の売上高は１０億６千８百万円（前年同期比０．３％減)、セグメント利益（営業利益）は１億１千１百万円（前年同期比２０．９％減)となりました。

〔建物の賃貸業〕

株式会社ツカモトコーポレーション及び株式会社アディスミューズにおける建物の賃貸業につきましては、堅調に推移しほぼ前年並の収益となりました。

以上の結果、売上高は３億３千４百万円（前年同期比２．２％減)、セグメント利益（営業利益）は、１億７千９百万円（前年同期比３．７％増)となりました。

〔健康・生活事業〕

ツカモトエイム株式会社における健康・生活事業につきましては、主力商品、新規商品の販売が順調に推移し、また、東日本大震災の影響により、浄水器関連の販売が増加するなど、大幅な増収増益となりま

した。
以上の結果、売上高は１５億９千８百万円（前年同期比４３．４％増)、セグメント利益（営業利益）は７千２百万円（前年同期はセグメント損失１千１百万円）となりました。
〔その他事業〕
倉庫業は取引先の移動により、売上高は微増に留まりましたが、利益率が向上し大幅な増益となりました。ビルメンテナンス・研修センター運営事業は研修センターの稼働率が改善し、増収増益となりました。
以上の結果、売上高は１億９千２百万円（前年同期比２．８％増)、セグメント利益（営業利益）は２千５百万円（前年同期比９９．８％増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報
当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、受取手形及び売掛金が１億８百万円減少、たな卸資産が１億７千９百万円増加したこと等により流動資産が９千４百万円の増加となりました。また、敷金保証金が１億８百万円減少したこと等により固定資産が１億３千２百万円減少し、資産合計は３千７百万円減少の３１９億１千７百万円となりました。
また負債の部では支払手形及び買掛金が３億２千４百万円増加しましたが、短期借入金が３億３千９百万円減少、未払法人税等が１億８千３百万円減少したこと等により流動負債が２億１千５百万円の減少となりました。また、長期借入金が２億円増加しましたが、役員退職慰労引当金の１億８千７百万円の減少等により固定負債が８百万円増加し、負債合計は前連結会計年度末に比べ２億６百万円減少し、２１２億５千５百万円となりました。
純資産は株主資本合計が１億２千万円増加し、その他有価証券評価差額金が１千８百万円増加したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ１億６千９百万円増加し、１０６億６千１百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況
当第１四半期連結累計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は４３億６千７百万円で前連結会計年度末と比べ１億３千３百万円の減少となりました。
(営業活動によるキャッシュ・フロー)
当第 1 四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は３千６百万円（前年同期は２億７千２百万円の増加）となり、これは主に税金等調整前四半期純利益の計上と、仕入債務の増加額がその他の引当金の減少額及びたな卸資産の増加額を上回ったこと等によるものであります。この結果、前年同期と比べて２億３千５百万円の減少となりました。
(投資活動によるキャッシュ・フロー)
当第 1 四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は１千８百万円（前年同期は２億１千８百万円の増加）となり、これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出並びにその他の支出が有形及び無形固定資産の売却による収入を上回ったこと等によるものであります。この結果、前年同期と比べて２億３千６百万円の減少となりました。
(財務活動によるキャッシュ・フロー)
当第 1 四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は１億５千４百万円（前年同期は２億９千８百万円の減少）となり、これは主に長短借入金の返済による支出が、長短借入れによる収入を上回ったこと等によるものであります。この結果、前年同期と比べて１億４千３百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報
国内経済の状況は東日本大震災の影響が残り、復興需要が本格化するにはまだ時間を要し、先行きの不透明感を払拭できない状況が続くものと想定されます。当社グループは和装事業の再構築と、既存事業における収益の安定化と成長戦略を進め、着実な収益体制の確立と財務体質の改善を図ってまいります。
連結業績予想としましては、第２四半期の連結決算に特別利益を計上する予定を開示しておりますが、大震災の影響もあり、現段階での平成２３年５月１３日発表の連結業績予想の修正は行っておりません。ただし、第２四半期連結累計期間及び通期の業績見込みについて見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示致します。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
(1)【四半期連結貸借対照表】

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,500	4,367
受取手形及び売掛金	5,567	5,458
有価証券	101	101
たな卸資産	2,857	3,036
繰延税金資産	20	39
その他	589	722
貸倒引当金	△64	△58
流動資産合計	13,573	13,667
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,121	4,071
土地	10,265	10,265
その他（純額）	221	222
有形固定資産合計	14,607	14,558
無形固定資産		
その他	47	56
無形固定資産合計	47	56
投資その他の資産		
投資有価証券	2,989	2,995
繰延税金資産	124	133
その他	899	786
貸倒引当金	△287	△280
投資その他の資産合計	3,726	3,635
固定資産合計	18,381	18,249
資産合計	31,954	31,917
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,738	6,062
短期借入金	8,280	7,940
未払消費税等	50	65
未払法人税等	250	67
繰延税金負債	11	8
返品調整引当金	77	81
事業構造改善引当金	100	－
役員賞与引当金	1	－
その他	632	702
流動負債合計	15,144	14,929

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
固定負債		
長期借入金	2,950	3,150
繰延税金負債	1,839	1,839
負ののれん	8	4
再評価に係る繰延税金負債	16	16
退職給付引当金	460	450
役員退職慰労引当金	286	99
資産除去債務	27	27
その他	729	739
固定負債合計	6,317	6,326
負債合計	21,462	21,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,829	2,829
資本剰余金	2,415	2,415
利益剰余金	873	994
自己株式	△122	△122
株主資本合計	5,997	6,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△192	△173
繰延ヘッジ損益	3	△0
土地再評価差額金	4	4
為替換算調整勘定	△21	△19
その他の包括利益累計額合計	△205	△188
少数株主持分	4,701	4,732
純資産合計	10,492	10,661
負債純資産合計	31,954	31,917

(2)【四半期連結損益及び包括利益計算書】
【第１四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第１四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日)
売上高	7,517	7,530
売上原価	5,066	5,179
売上総利益	2,451	2,350
返品調整引当金繰入額	87	81
返品調整引当金戻入額	100	77
繰延リース利益戻入額	―	0
差引売上総利益	2,464	2,346
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	125	127
旅費及び交通費	139	137
荷造運搬費	176	193
貸倒引当金繰入額	22	△7
給料	835	799
賞与	92	99
退職給付引当金繰入額	15	50
役員退職慰労引当金繰入額	3	2
福利厚生費	192	186
業務委託費	99	111
減価償却費	30	28
賃借料	53	72
その他	339	364
販売費及び一般管理費合計	2,127	2,166
営業利益	337	180
営業外収益		
受取利息	15	14
受取配当金	7	7
保険配当金	8	5
受取保険金	0	0
負ののれん償却額	4	4
為替差益	2	1
その他	10	40
営業外収益合計	50	73
営業外費用		
支払利息	56	52
手形売却損	4	5
その他	7	3
営業外費用合計	68	60
経常利益	318	193

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）
特別利益		
事業構造改善引当金戻入額	－	28
特別利益合計	－	28
特別損失		
固定資産売却損	21	－
投資有価証券評価損	10	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27	－
訴訟和解金	－	13
特別損失合計	59	13
税金等調整前四半期純利益	258	208
法人税、住民税及び事業税	79	42
法人税等合計	79	42
少数株主損益調整前四半期純利益	179	166
少数株主利益	47	46
四半期純利益	132	120
少数株主利益	47	46
少数株主損益調整前四半期純利益	179	166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△324	11
繰延ヘッジ損益	－	△3
為替換算調整勘定	0	2
その他の包括利益合計	△323	10
四半期包括利益	△144	177
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△177	137
少数株主に係る四半期包括利益	33	39

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	258	208
減価償却費	62	75
負ののれん償却額	△4	△4
有形及び無形固定資産除却損	0	9
投資有価証券減損損失	10	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	25	△12
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△38	△10
その他の引当金の増減額（△は減少）	△23	△285
受取利息及び受取配当金	△22	△21
支払利息	56	52
有価証券売却損益（△は益）	△0	－
為替差損益（△は益）	△2	△1
固定資産売却損益（△は益）	21	－
売上債権の増減額（△は増加）	995	115
たな卸資産の増減額（△は増加）	△181	△179
仕入債務の増減額（△は減少）	△516	330
未払消費税等の増減額（△は減少）	△31	51
その他	△173	△43
小計	437	286
利息及び配当金の受取額	58	54
利息の支払額	△57	△53
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△166	△250
営業活動によるキャッシュ・フロー	272	36
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	380	－
有形及び無形固定資産の取得による支出	△309	△44
有形及び無形固定資産の売却による収入	150	47
投資有価証券の取得による支出	△0	△2
投資有価証券の売却による収入	0	－
貸付けによる支出	△2	△7
貸付金の回収による収入	0	1
その他の支出	△0	△21
その他の収入	0	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	218	△18

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,045	781
短期借入金の返済による支出	△953	△1,145
長期借入れによる収入	－	300
長期借入金の返済による支出	△375	△75
リース債務の返済による支出	△5	△6
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△0	△0
少数株主への配当金の支払額	△8	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△298	△154
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	193	△133
現金及び現金同等物の期首残高	4,316	4,500
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,509	4,367

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他（注）	合 計
	和装事業	洋装事業	ﾎｰﾑﾌｧﾆｼﾝｸﾞ事 業	陳列用器具の賃 貸 業	建 物 の賃 貸 業	健康・生活事 業	計		
売上高									
外部顧客に対する売上高	2,555	1,967	489	1,056	223	1,110	7,403	114	7,517
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	0	11	14	118	4	152	72	224
計	2,558	1,967	500	1,071	342	1,114	7,555	187	7,742
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△ 31	107	△ 32	141	173	△ 11	346	12	359

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業、研修センター運営事業等を含んでおります。

2．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	346
「その他」の区分の利益	12
セグメント間取引消去	2
全社費用（注）	△ 25
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	337

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第1四半期連結累計期間（自　平成23年4月1日　　至　平成23年6月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他（注）	合　計
	和装事業	洋装事業	ﾎｰﾑﾌｧﾆｼﾝｸﾞ事　業	陳列用器具の賃　貸　業	建　物　の賃　貸　業	健康・生活事　業	計		
売上高									
外部顧客に対する売上高	2,038	1,866	657	1,040	202	1,598	7,403	127	7,530
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	0	10	27	132	0	174	65	239
計	2,040	1,867	667	1,068	334	1,598	7,577	192	7,769
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△ 130	6	△ 30	111	179	72	210	25	235

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業、研修センター運営事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	210
「その他」の区分の利益	25
セグメント間取引消去	2
全社費用（注）	△ 58
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	180

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。